

開館時間 午前9時30分～午後6時（観覧券の販売は午後5時30分まで）※季節により変更する場合があります。

休館日 展示替え期間中と年末年始 ※詳細は裏面。

コレクション展 観覧料

	一般	大学生	高校生以下
個人	370円	290円	無料
団体	290円	230円	

※団体は20名以上、65歳以上は個人でも団体料金。
企画展は展覧会ごとに定めます。
毎月第一月曜日はコレクション展示室無料。

アクセス

バス
JR金沢駅東口バスのりばより兼六園シャトルで「県立美術館・成翼閣前」下車徒歩2分
城下町金沢周遊バスで「広坂・21世紀美術館前」下車徒歩5分
タクシー
JR金沢駅より約15分
自動車
北陸自動車道金沢西IC・森本ICより約20分



コレクション展示室について

前田育徳会尊経閣文庫分館

公益財団法人前田育徳会が所蔵する、加賀藩前田家に伝わった優れた文化財をテーマに基づき展示します。

第1展示室

野々村仁清の国宝《色絵雉香炉》と重要文化財《色絵雌雄香炉》を常設展示しています。



第2展示室

古九谷を中心に、江戸時代までの美術・工芸作品を展示します。

第3～6展示室

明治以降から現代における、石川県ゆかりの絵画・彫刻・書・工芸作品を中心に展示します。



石川県立美術館
〒920-0963 石川県金沢市出羽町2-1
TEL: 076-231-7580
URL: <http://ishibi.pref.ishikawa.jp>
MAIL: ishibi@pref.ishikawa.lg.jp

かお・すがた・ころろ
—いしかわゆかりの肖像—

4/19[日] — 5/17[日]

高光一也、宮本三郎ら石川ゆかりの作家たちの多くの優れた肖像画、人物画からそれらに宿る時代性、さらに時代を超越する人間描写の普遍性を紹介します。



碓伊之助《黄八文の令嬢》東京国立近代美術館蔵

没後35年
鴨居 玲 —静止した刻—

6/20[土] — 7/19[日]

いつの時代もつきまとう、人間の孤独そしてやるせなさ。人生の刹那を切り取る鴨居の手法は、まさに時を静止させます。いよいよ没後35年を迎える鴨居玲の回顧展です。

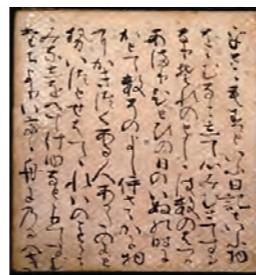


鴨居玲《静止した刻》東京国立近代美術館蔵

加賀百万石 文武の誉れ
—歴史と継承—

7/25[土] — 8/30[日]

尊経閣文庫に伝わる国宝・重文をはじめ、「百万石ブランド」による文化的求心力によって石川県に集積された茶道美術の名品などを通して、石川の文化風土から、文と武に際立った前田家の文化政策を再認識し、本県の文化の沃野を広く内外に発信します。



国宝《土佐日記》前田育徳会蔵



国宝《剣 銘吉光》白山比咩神社蔵

特別陳列

きらめく美

北陸ゆかりの截金作家たち
6/20[土] — 7/26[日]

平安時代の仏教美術に用いられた「截金」技法の人間国宝・西出大三。没後25年に際し、高瀬孝信、山本茜ら北陸ゆかりの截金作家を併せて紹介します。

よみがえった文化財

修復工場の修復実績
7/31[金] — 8/30[日]

昨年度修復作品の中から指定文化財を中心に、修復前や修復過程は写真パネルを添えて紹介。文化財の保存・管理・公開を広く普及するための展覧会です。

ブダペスト国立工芸美術館名品展
ジャポニスムからアール・ヌーヴォーへ

9/5[土] — 10/18[日]

19世紀後半の西欧に影響を与えたジャポニスムと当時主流であったアール・ヌーヴォー。ブダペスト国立工芸美術館の所蔵品から、日本美術の西洋への影響、西洋における日本美術の解釈の歴史を辿ります。



エミール・ガレ《洋蘭文花器》ブダペスト国立工芸美術館蔵

うるはしきもの・めでたきわざ
—北陸の芸術院会員・人間国宝—

11/8[日] — 12/20[日]

近代以前より文化的な土壌が豊かであった石川・富山・福井では、工芸作品の制作が盛んに行われ、多くの作家を輩出しています。本展では北陸三県の芸術院会員、人間国宝の優れた作品とわざを紹介します。



松田権六《蒔絵竹に雀図二段卓》

花木にみる日本美の心 1/4[月] — 2/7[日]

日本人の情緒的・装飾的感性を表現するのにふさわしいものとして、古くから流行し、数多く制作されてきた四季折々の花木草花を題材とする美術工芸品を通じて、日本美の心に迫ります。



泉文《秋草図》喜多川相説(右巻)

生誕140年 熊谷守一展 2/11[木・祝] — 3/14[日]

単純な形態と明快な色彩で構成されている「モリカズ様式」で、多くの美術ファンの心をつかむ熊谷守一(1880-1977)。本展では、油彩画・日本画など約150点で70年を超える画業を振り返ります。

前田利為の文化業績

7/31[金] — 8/30[日]

加賀藩五代藩主・前田綱紀と、綱紀の文化政策に深く共感し、文化による人間育成の姿勢を厳しい時代にあっても貫いた前田家十六代・利為の珠玉のコレクションを展示します。

静けさが形となる時

西田藤夫 イタリア40年
2/13[土] — 3/19[金]

渡伊40年を迎えた、金沢美大出身の洋画家・西田藤夫。その色彩は潤いを帯び、独自の静けさに包まれています。本格的な静物画を堪能していただけます。

石川県立美術館

展覧会スケジュール

2020年度



石川県指定文化財《色絵鳳凰図平鉢》古九谷

3/24[火]ー4/13[月]

婚礼調度と
遊戯具

加賀文化の粹 I
茶の湯・絵画・工芸

4/19[日]ー5/17[日]

前田家の
甲冑・陣羽織 I

加賀文化の粹 II
茶の湯・絵画・工芸



県文《粉引茶碗 銘楚白》

5/23[土]ー6/14[日]

前田家の
甲冑・陣羽織 II

特別陳列
加賀文化の粹 III
加州刀

6/20[土]ー7/26[日]

特別陳列
日本往生極楽記と
一遍上人絵伝



重文《一遍上人絵伝(部分)前田育徳会蔵

加賀ゆかりの個性派絵師
守景・岸駒

7/31[金]ー8/30[日]

特別陳列
前田利為の文化業績

特別陳列
よみがえった文化財
修復工房の修復実績



虫損の繕い

9/5[土]ー10/18[日]

特別陳列
前田家の
名物裂



《名物裂 有柄川錦(鹿文)》(部分)前田育徳会蔵

琳派

10/23[金]ー11/15[日]

特別陳列
加賀藩の美術工芸 I



国宝《宝積経要品》(部分)前田育徳会蔵

石川の文化財 I

11/19[木]ー12/20[日]

特別陳列
加賀藩の美術工芸 II



国宝《顕聚国史 第百七十七》(部分)前田育徳会蔵

石川の文化財 II

1/4[月]ー2/7[日]

新春優品選

新春優品選

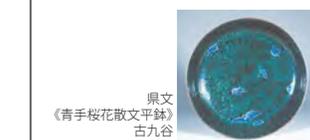


重文《色絵梅花園平水指》野々村仁清

2/13[土]ー3/19[金]

前田家の天神信仰

古九谷・
再興九谷名品選



県文
《青手桜花散文平鉢》
古九谷

第76回
現代美術展
洋画
工芸
写真

春の優品選【工芸】



寺井直次《山法師時絵金胎盤》

春の優品選
【絵画・彫刻】

改組新
第6回
日展
金沢展

特別陳列
きらめく美【工芸】
北陸ゆかりの鍍金作家たち



西出大三《鍍金彩色合子「花守犬」》

木と向き合う
～木彫の世界～【彫刻】

新収蔵品選【絵画・彫刻・写真】

キラキラ×工芸
【工芸】

夏休み親子で楽しむ美術館
もっと、いしかわ
【絵画・彫刻・工芸】



梶山伸《名園譜》

優品選【絵画・彫刻】

風景をたずねて【工芸】



堀友三郎《虹の立つ丘》

くらしと風景と【絵画・彫刻】

優品選【絵画・彫刻】

秋の優品選【工芸】

日本画のてびき
技法、趣向、エトセトラ
【絵画】



古澤洋子《未来の化石》

優品選【絵画・彫刻】

明治→平成
移り変わる工芸【工芸】



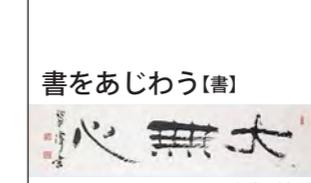
初代宮川香山《染付黄軸立葵園花瓶》

人物画の世界【絵画】

優品選【絵画・彫刻】

新春優品選【工芸】

書をあじわう【書】



小坂奇石《虚心》

優品選【絵画・彫刻】

はこ・箱・hako
さまざまな素材とわざ【工芸】

特別陳列
静けさが形となる時
西田藤夫 イタリア40年【絵画】



西田藤夫《毛糸》

優品選【絵画・彫刻】

月 休館日 4 休 14~18 火 土 5 休 18~22 月 金 6 休 15~19 月 金 7 休館日なし 8 休 31 月 9 休 1~4 火 金 10 休 19~22 月 木 11 休 16~18 月 水 12 休 21~31 月 木 1 休 1~3 金 祝 日 2 休 8~10 月 水 3 休 20~23 土 火

第76回
現代美術展
洋画
工芸
写真
3/27[金]
ー4/13[月]

かおすがた・こころ
ーいしかわ
ゆかりの肖像ー

4/19[日]ー5/17[日]

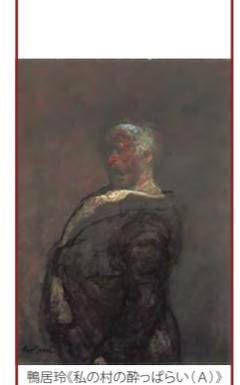


高光一也《紫色のコスチューム》

改組新
第6回
日展
金沢展
5/23[土]
ー6/14[日]

没後35年
鴨居玲
ー静止した刻ー

6/20[土]ー7/19[日]



鴨居玲《私の村の静っぽい(A)》
空間自動美術館蔵

加賀百万石
文武の誉れ
ー歴史と継承ー
7/25[土]ー8/30[日]



重文《金小札白糸素懸威胴丸具足》
前田育徳会蔵

ブダベスト国立工芸美術館名品展
ジャポニスムから
アール・ヌーヴォーへ
9/5[土]ー10/18[日]



ジョルナイ陶磁器製造所《葡萄新芽文花器》
ブダベスト国立工芸美術館蔵

第67回
日本伝統工芸展
金沢展
10/23[金]ー
11/3[火・祝]

うるはしきもの
めでたきわざ
ー北陸の芸術院会員・
人間国宝ー
11/8[日]ー12/20[日]



二代浅藏五十吉《樹間に遊ぶ色絵飾皿》

花木にみる
日本美の心
1/4[月]ー2/7[日]



曲子光男《開春》

生誕140年
熊谷守一展
2/11[木・祝]ー3/14[日]



熊谷守一《化猫》1959年、個人蔵